

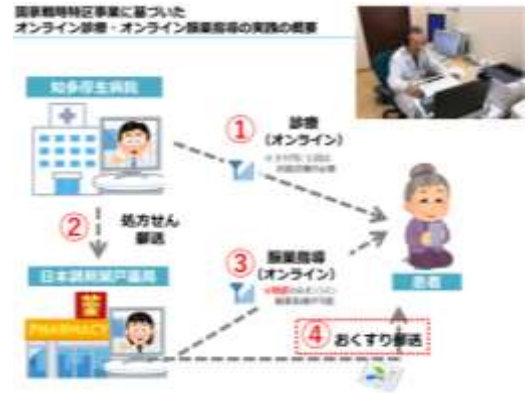
オンライン診療・オンライン服薬指導について

1. オンライン診療とは

- ・オンライン診療とは、スマートフォンなどで医師とビデオ通話を行って診察するものです。
- ・1997年に当時の厚生省から通知が発行された後、スマートフォンが普及するようになった2015年に、遠隔診療の通知がされたことを受け、全国的に普及の兆しが見えました。最近はコロナ禍により、一気に脚光を浴びています
- ・現時点では安定した病状の患者など限定的な使用となっていますが、今後急速に普及する可能性があります。
- ・知多厚生病院では、篠島がオンライン服薬指導の国家戦略特区対象地域となったことをうけ、2019年2月より、実証実験を開始しました。

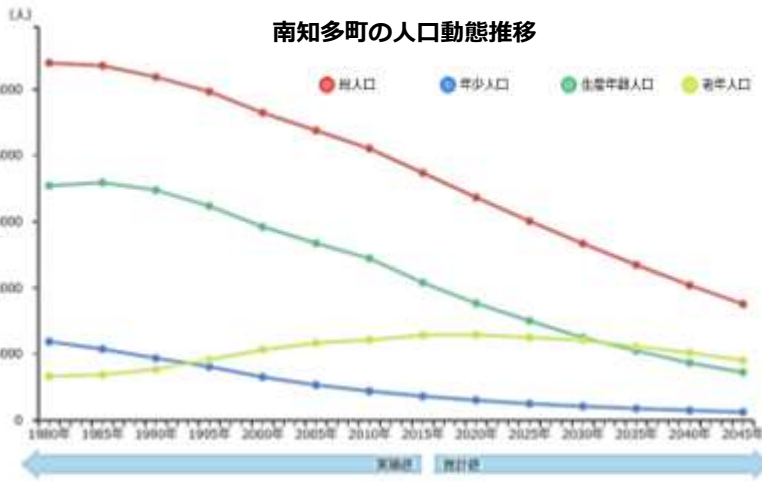
2. オンライン服薬指導とは

- ・2018年6月14日の国家戦略特別区諮問会議において、愛知県、兵庫県養父市、福岡市が、オンライン服薬指導特区に選ばれました。これらより、離島では**愛知県の篠島、佐久島、福岡市の玄界島などが対象地域となりました。**
- ・現在では、薬機法の改正により、全国でオンライン服薬指導が認められています。
- ・オンライン服薬指導を受ければ、調剤薬局から**薬が郵送**されます。(通院不要)



3. へき地におけるオンライン診療・オンライン服薬指導の必要性

① 迫り来る生産年齢人口減少による人手不足



- ・2035年には生産年齢人口と老年人口が逆転 (働き手は少なくなるが、高齢者はさほど減少しない) = 今後ますます増える人手不足
- ・医療従事者確保は深刻な課題
- ・物流を担う人材も不足するのではと懸念

② 病院に通いたくても通えない方への手段としての検証

病院に通えない理由は様々・・・

- ・高齢により運転ができない (免許返納)
- ・へき地在住で交通手段が無い
- ・島などでは、物理的に通えないときがある (時化など)

いならば、「へき地における課題」

今後、地域医療の貢献への「可能性」としてオンライン医療を検討

4. オンライン診療・オンライン服薬指導におけるドローンの可能性

- ① 人手不足の解消策としての可能性
- ② コロナ禍における、非接触送付の可能性
- ③ 緊急配送などの即時性ある方法としての可能性

病院長 水野 志朗
 病床数 199床
 各種指定 臨床研修指定病院・救急告示病院・地域災害拠点病院・へき地医療拠点病院・第2種感染症指定医療機関 他
 公式WEBサイト <https://chita.jaaikosei.or.jp>

<病院概要>

